

花小金井小唄

作詩 岩瀬ひろし
作曲・編曲 藤原秀行
唄 及川三千代

一、春は花見に花小金井の
桜堤に招ばれて招んで
花もちら／＼玉川べりの
水にさ、やく影と影

二、夏はみどりのトンネルぬけて
風もすがしい並木の木かけ
暮れりやほんのり商店街の
ネオンしぶきも夢を見る

三、秋は静かに円成院の
鐘が流れる武蔵野あたり
去年祈って今日結ばれて
お札参りの初島田

四、冬は粉雪情にとけて
胸にほんのり灯りをともす
色は黒ても手打のうどん
みんなほれ／＼味のよさ

五、花を咲かせて小金をためて
スイートホームも花小金井へ
西武電車にゆられてゆれて
今日も仲良く二人連れ

「花小金井小唄」

藤間紋三郎振付

(踊り方)

手拭を首にかけ四陣を作り時計の逆廻りに進みます。
前奏八呼間待つて踊り始めます。



①一つの……
右足を前にけり出し乍ら右手は前方平に出し左手は顔の前にかざす。



②二つの……
①の反対動作。三つの四つとくりかへし。



③五つの……
両手胸から左右に開き一足立ち。



④六つの……
右足を引いて右手は右後方へ流し左手は顔の前へかざす。



⑤七つの……
④の反対動作。八つで④の動作六つ七つ八つと二歩下る事になります。



⑥一つの……二つ
右手で手拭をとり両手にもちくる／＼と二度まわします。



⑦二つ……
右足前進し右手手拭を右足前方へふり左手は右たもとをもちまです。



⑧四つ……
左足出し⑦の反対動作。五つの六つ七つと前進しながらくりかへし。



⑨七つの……
七つめになると同じに足は右足から一二三とふみかへます。

(小道具)

手拭



⑩八つ……
八つで両手に手拭をもち頭の上へか、げます。



⑪一つの二つの……
右足から一二三と右へ二廻りします。



⑫二つの四つ……
左足から反対廻りし。



⑬⑬の後四つの時にはすでに首へ手拭をかけます。



⑭五つの六つ……
右足から右斜前方へ一二三と進み左足を上げ右手を右上にかざし左手は右手の二の腕に乗せ顔は左後方上を見ます。



⑮七つの八つ……
左足から左斜前方へ⑭の反対動作。



⑯千ヨチヨンガチヨン
六つ拍手とる
又最初の動作に帰ります。